

山中漆器の技術とICTを活用した生産体制で 国内外の顧客の要望に対応

業務用樹脂食器の製造販売やノベルティ等の供給を行っている。デザイン設計から成型、製造まで一貫したシステムで、製造・販売、複雑形状や多品種小ロット等、顧客の要望に対応。柔軟な開発体制により、大手回転寿司チェーンで使用されている寿司皿の国内でトップシェアを維持。環境問題に対応するため、リサイクル可能なPET樹脂に、山中漆器産地の技法を用い、創業以来の実績とノウハウでコストを低減した確かな製品を製造している。

●所在地 石川県加賀市宇谷町1番地5

●電話/FAX 0761-76-0070/0761-77-3538

●URL <http://www.takano-create.co.jp/>

●代表者 代表取締役社長 小西 広大

●設立 1969年

●資本金 4,800万円

●従業員数 38人



漆器の技術とノウハウで複雑形状や小ロット多品種生産を実現

漆器産地で培った実績と技術、ノウハウを活かし、プラスチック食器等のコストダウンを図り、品質の良い製品を実現した。商品の用途に応じ、デザイン・設計・金型・樹脂選定・二次加工等を行う一貫したシステムで商品を製造・販売している。「ICTを活用した山中漆器生産性向上プロジェクト」を導入し、成型・塗装・蒔絵の分業体制を見直して効率化に取り組んだ。また、一部で職人の「塗り」工程を導入し、複雑形状の製品や小ロット多品種生産が可能な技術力で、製品の品質や信頼性を確保、製品の優位性を確立できた。



伝統の技術が受け継がれている山中漆器

ユニバーサルデザイン製品開発とジャストインタイムの生産

主力製品の樹脂製食器では、自動会計対応の寿司皿や、年齢・性別・国籍に捕らわれないユニバーサルデザインを盛込んだ製品の開発。海外店舗向けの製品では、現地特有の色彩やデザインの需要に合わせて、顧客獲得につながるビジネスモデルを構築している。また、ジャストインタイム生産方式で、回転寿司店の在庫負担をなくして輸入品との価格競争力が発揮できたことで、海外企業から輸入している企業が同社製品へシフトするよう取り組んでいる。寿司皿の国内生産で70%のシェアを保っている。



国内外で利用されている回転寿司皿

環境配慮型食器をパナソニック電工（株）と共同開発

環境問題対応した塗り物PET樹脂製の寿司皿を、業界で初めて製品化した。ペットボトルと同じ素材を塗り物用・レンジ対応用の用途別に新素材を開発。特長は①環境ホルモンを含まない、②燃やしてもダイオキシンが発生しない、③塗り加工が施されたままりサイクルできる、④耐熱性が高い、⑤臭気がなく味移りしない等である。環境に配慮したエコな製品は軽くて割れず、積みあげられるという機能を持ち、今までにない製品を実現できた。



地球にやさしい環境配慮型食器